

このコーナーでは、都産技研の研究員をクローズアップしてご紹介します。研究員の人となりが分かることで、より都産技研を身近に感じていただきたいという想いから生まれました。どんな人が都産技研にいるのか、ぜひご覧ください。

長年の経験を 分析業務に生かす

今回ご紹介するのは、高度分析開発セクターの森河 和雄さんです。森河さんは、入所30年目のベテラン研究員。金属関連の業務を担当してきた経験を現在の分析業務にも生かし、活躍されています。

●主な仕事内容は？

主に金属材料・無機材料などを対象として、透過電子顕微鏡観察に関わる試料作製から組織観察の試験を担当しています。その他にも、電子顕微鏡関連の講習会やセミナーの開催、X線回折装置の機器利用なども行っています。

●森河さんの大事にしていることは？

私は、長年金属関連の仕事を主にしてきましたので、現在担当している分析装置の専門家ではありません。しかし、透過電子顕微鏡などもそれまでの業務の中で利用してきました。そのおかげで、現在の分析に関わる業務においても、これまでの経験を生かし、金属の専門家として出てきた結果に意見できていると思っています。

お問い合わせ 高度分析開発セクター<本部> TEL 03-5530-2150

Introduction



本部
高度分析開発セクター
主任研究員
森河 和雄

最新装置を使いこなすべく奮闘中!

本部の移転に伴い、30年ぶりに透過電子顕微鏡が更新されました。この間に、装置の性能・機能は数段進化しています。この年にして、この装置をうまく使いこなすための試行錯誤が最近の趣味となっています。

TOPICS

JPCA Show2014に出展

平成26年6月4日～6日の3日間、東京ビッグサイトで行われたJPCA Show2014に情報技術グループが出展しました。ブースでは、高位合成手法による電子回路開発とGPGPUの産業応用といった研究成果の紹介や、都産技研ブランド試験のひとつである高速通信試験の紹介を行いました。3日間で約12万人が来場し、都産技研のブースにも多くのお客さまが訪れ、研究員の説明に熱心に耳を傾けていました。



お客さまに説明を行う都産技研職員

機械要素技術展に出展

平成26年6月25日～27日の3日間、東京ビッグサイトで行われた日本ものづくりワールド2014内の機械要素技術展に、実証試験セクターが出展しました。衝撃吸収特性評価事例の紹介や、実証試験セクターが行うさまざまな製品の強度試験、引張試験の紹介を行いました。試験や製品開発に対する質問、相談などを中心に、都産技研のブースにも多くの方にご来場いただきました。



ブースの様子